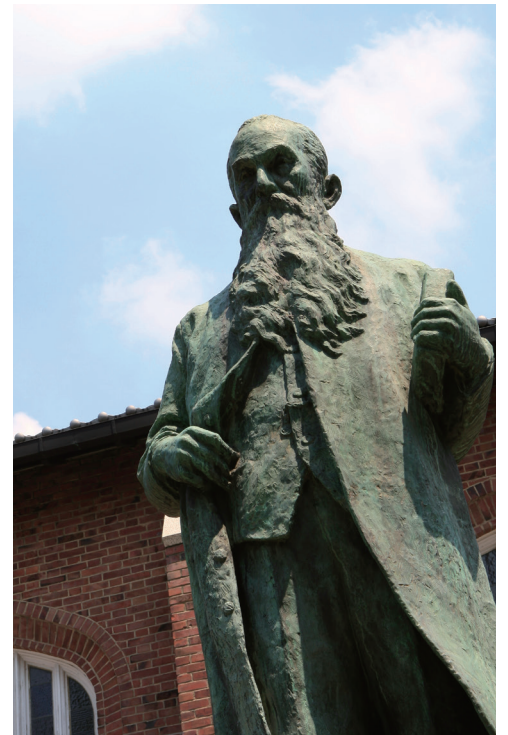




立教大学
RIKKYO UNIVERSITY

2021



Graduate School of Law and Politics
法学研究科 法学政治学専攻



● 専攻のポイント ▶▶▶

修了後の進路に合わせて選べる2コース制

2018年度より、「アカデミック・コース」と「プロフェッショナル・コース」の2コースがスタートしました。

「アカデミック・コース」は、専門分野の高度な研究能力を養い、学術的な修士論文を執筆し、さらに博士後期課程に進学して法学・政治学の研究者を目指す人たちを受け入れます。

「プロフェッショナル・コース」では、法学や政治学の専門性の高い授業と指導を基礎にリサーチ・ペーパーを執筆し、公務員、司法書士など法律関係士業、企業の法務部門、行政機関等の研究所、NGO・NPOなどで働くことを目標とする人たちや、退職後の第二のキャリアを目指してブラッシュアップしたい人などへの教育を提供します。

「特論」と「研究」の2タイプの授業

2コース制の導入に伴い、主として「アカデミック・コース」向けの授業である「研究」系科目と、主として「プロフェッショナル・コース」向けの授業である「特論」系科目がほぼ同数開講されます。それぞれのコースの学生は「研究」、「特論」いずれをも履修することができますが、「研究」は、特に研究者を目指す人の修士論文執筆に有益な授業で、「プロフェッショナル・コース」のリサーチ・ペーパー執筆にも役立ちます。「特論」は法学部の授業をさらに進めたアドバンス科目で、高度専門職業人を目指す人や専門分野を体系的に学び直したい人に特に有益な授業です。

複数教員による指導体制の充実

本専攻では、法学・政治学の高度の専門教育を行うだけではなく、複雑な社会現象を的確に把握・分析しうる複眼的知識を修得してもらうことをめざしています。そのために、それぞれの大学院生に正・副2名の指導教授がついて、論文作成をはじめとする研究指導を多角的に行う体制を整えています。また、「総合演習」や「判例研究」では、各自の研究テーマについてプレゼンテーションを行い、これに対して、正・副の指導教授だけではなく、多くの他の教員から多角的なアドバイスを受けることができます。このような指導体制によって、大学院生の多様な知的関心に対して、他の学問分野にまたがる学際的な研究や新しいイシューについての総合的な研究についても、的確に支援できる環境を準備しています。

● 在学生からのメッセージ ▶▶▶

Y. K.

(博士課程前期課程2年、プロフェッショナル・コース)

私は大学で学んだ国際テロや戦争の問題を別の視点から考えたいと思い、大学院に進学しました。大学院では国際法を専門に研究しており、紛争で苦しむ人々を如何に救うかという問題意識を持ち、特に国連平和維持活動に関わる問題をテーマにしています。

授業では、学生が自由に設定したテーマについての文献を購読し、その内容や問題点を先生と学生で議論することを通じて、新しい知識や考え方を身につけることが出来ます。授業以外においても、様々な分野を専門にする学生と議論することによって、他の側面から専門分野を深めることができ、充実した研究生生活を送ることが出来ます。

R. K.

(博士課程前期課程2年、アカデミック・コース)

大学院での研究生生活は端的に言って大変です。とはいえ立教大学の法学研究科の環境は非常に恵まれていると言えます。大学院生は一人一つデスクや本棚が与えられることから始まり、授業では各分野の第一線に立つ先生方との議論が行われ、大学院生同士では研究会や読書会を通じて意見交換がされます。研究基礎の授業では修士課程での研究に向けて論文の書き方や方法論からしっかりと学ぶことができます。また正・副の指導教授はもちろん、多くの先生方から多角的な助言をいただくことができ、このような恵まれた環境下で、日々切磋琢磨しながら充実した研究生生活を送ることができます。

S. E.

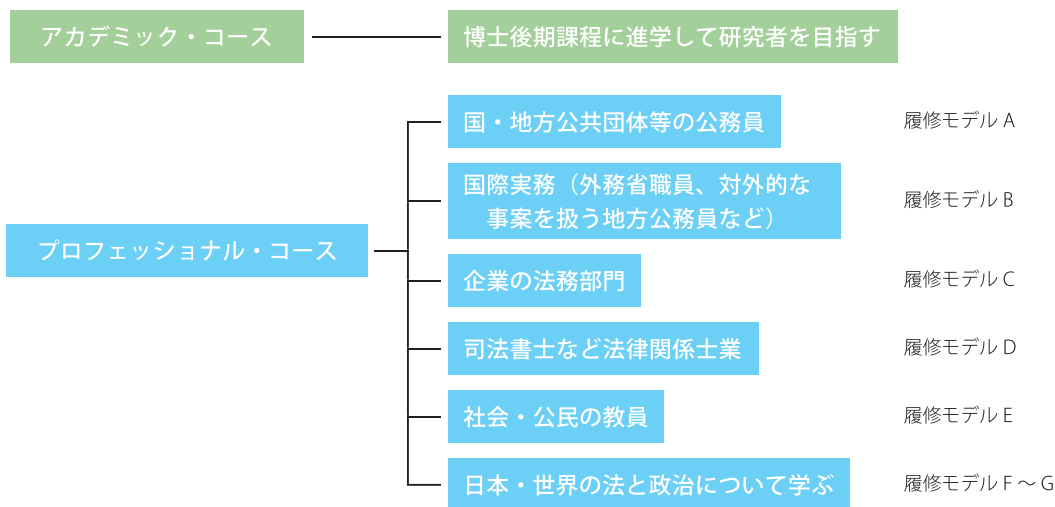
(博士課程前期課程2年、プロフェッショナル・コース)

私は民法の家族法について研究しています。学部時代に興味を持ち、問題意識を抱いた分野であり、さらに知識を深めて多角的な視点を身につけたく大学院に進学しました。本研究科の授業は少人数制であり、教授と学生とじっくり議論できます。特進生や社会人経験者、留学生など多彩な仲間がいる環境も魅力の1つです。また、研究者や公務員、民間企業等で働くことを目指す様々な目標を持った仲間と切磋琢磨しあえます。

私はIT企業に就職することになりましたが、大学院で身につけた自分の見解を論理的に組み立てる能力は、社会人としてこれからも役立つであろうと確信しております。

● 履修モデルの案内 ▶▶▶

法学政治学専攻・前期課程



◆ 前期課程授業科目／単位

必修科目

特別研究指導A1・A2・B1・B2…各2単位

選択必修科目

[法学系]

英米法研究	2単位
英米法特論	2単位
法哲学研究	2単位
法哲学特論	2単位
国際取引法研究	2単位
国際取引法特論	2単位
国際法研究	2単位
国際法特論	2単位
国際経済法研究	2単位
国際経済法特論	2単位
民法研究A・B	各2単位
民法特論A・B・C	各2単位
商法研究	2単位
商法特論	2単位
民事訴訟法研究	2単位
民事訴訟法特論	2単位
知的財産法研究	2単位
知的財産法特論	2単位
労働法研究	2単位
労働法特論	2単位
国際私法研究	2単位
国際私法特論	2単位
刑法研究	2単位
刑法特論	2単位
刑事訴訟法研究	2単位
刑事訴訟法特論	2単位
憲法研究	2単位
憲法特論	2単位
行政法研究	2単位
行政法特論	2単位
刑事学研究	2単位
刑事学特論	2単位
経済法研究	2単位
経済法特論	2単位
法社会学研究	2単位
法社会学特論	2単位
環境法研究	2単位
環境法特論	2単位
租税法研究	2単位
租税法特論	2単位
判例研究	2単位
法学総合演習(1)・(2)	各1単位
法学研究基礎	2単位
法学政治学特別リサーチ	2単位

[政治学系]

現代政治理論研究	2単位
政治学特論	2単位
政治過程研究	2単位
政治過程特論	2単位
日本政治史研究	2単位
日本政治史特論	2単位
欧州政治思想史研究	2単位
欧州政治思想史特論	2単位
日本政治思想史研究	2単位
日本政治思想史特論	2単位
国際政治研究	2単位
国際政治特論	2単位
行政学研究	2単位
行政学特論	2単位
アメリカ政治研究	2単位
アメリカ政治特論	2単位
アジア政治研究	2単位
アジア政治特論	2単位
ヨーロッパ政治研究	2単位
ヨーロッパ政治特論	2単位
公共政策特論	2単位
地方自治特論	2単位
政治学総合演習(1)・(2)	各1単位
政治学研究基礎	2単位
法学政治学特別リサーチ	2単位

[リサーチ系]

統計学特論	2単位
社会調査特論	2単位

修了に必要な単位

必修科目	
特別研究指導A1・A2・B1・B2	各2単位
選択必修科目	
本専攻から	12単位
選択科目	
以下のうちから	10単位
本専攻	
他研究科(4単位まで)	
単位互換協定校(8単位まで)	
法学部科目(4単位まで)	
他大学大学院入学前単位認定科目(10単位まで)	
合計	30単位以上

◆ 「プロフェッショナル・コース」の履修モデル

【キャリア履修モデル】

A. 公共政策 (17科目)

憲法特論
民法特論A
民法特論B
民法特論C
刑法特論
国際法特論
国際経済法特論
労働法特論
行政法特論
環境法特論
政治学特論
政治過程特論
日本政治史特論
国際政治特論
行政学特論
公共政策特論
地方自治特論

B. 国際実務 (14科目)

民法特論A
民法特論B
民法特論C
国際法特論
国際経済法特論
日本政治史特論
国際政治特論
英米法特論
国際取引法特論
国際私法特論
租税法特論
アメリカ政治特論
アジア政治特論
ヨーロッパ政治特論

C. 企業法務 (14科目)

民法特論A
民法特論B
民法特論C
国際経済法特論
国際取引法特論
国際私法特論
租税法特論
刑法特論
労働法特論
商法特論
民事訴訟法特論
知的財産法特論
経済法特論
法社会学特論

D. 士業・司法関係機関職員 (10科目)

民法特論A
民法特論B
民法特論C
租税法特論
刑法特論
商法特論

民事訴訟法特論
法社会学特論
行政法特論
刑事訴訟法特論

E. 社会・公民教員 (16科目)

政治過程特論
政治学特論
日本政治史特論
国際政治特論
アメリカ政治特論
アジア政治特論
ヨーロッパ政治特論
日本政治思想史特論
憲法特論
地方自治特論
法哲学特論
法社会学特論
行政法特論
労働法特論
国際私法特論
知的財産法特論

【自由履修モデル】

F. 日本の法と政治 (17科目)

日本政治史特論
憲法特論
政治過程特論
法哲学特論
日本政治思想史特論
民法特論A
民法特論B
民法特論C
商法特論
民事訴訟法特論
法社会学特論
行政法特論
刑事訴訟法特論
環境法特論
政治学特論
行政学特論
知的財産法特論

G. 世界の法と政治 (14科目)

憲法特論
法哲学特論
民法特論A
民法特論B
民法特論C
民事訴訟法特論
刑事訴訟法特論
環境法特論
政治学特論
国際政治特論
アメリカ政治特論
アジア政治特論
ヨーロッパ政治特論
国際法特論
英米法特論

入学試験

- ・博士課程前期課程の入学試験は、「アカデミック・コース」、「プロフェッショナル・コース」とともに、一般入学試験、社会人入学試験、外国人入学試験の3つに区分して実施します。
- ・「アカデミック・コース」と「プロフェッショナル・コース」は併願することができます。

● 試験日程 ▶▶▶

【2020年秋季実施分（2021年度入試）】

課程	専攻(コース)	募集人員	区分	受験資格審査 受付期間	出願受付期間	事前課題提出期限 (アカデミック)※ [Webアップロード]	第1次選考 合格発表	第2次選考 (口頭試問)※ [オンライン]	第2次選考 合格発表
前期	法学政治学 (アカデミック)	20名	一般	7月27日(月) ～7月29日(水) (社会人・外国人 区分のみ)	8月24日(月) ～8月31日(月)	9月18日 (金)	9月30日 (水)	10月3日 (土)	10月16日 (金)
			社会人						
			外国人						
	法学政治学 (プロフェッショナル)		一般			—			
			社会人						
			外国人						

※ 第1次選考の方法は、コースによって異なります。「アカデミック・コース」では事前課題、「プロフェッショナル・コース」では書類選考を実施します。詳細は現在公開中の入試要項をご確認ください。

【2021年春季実施分】

2021年春季実施分の入試日程については、10月下旬公開予定の入試要項をご確認ください。

下記のURLからダウンロードできます。

URL: <http://www.rikkyo.ac.jp/admissions/graduate/>

● 選考方法 ▶▶▶

課程	専攻(コース)	募集人数	区分	試験科目 (事前課題・書類審査・口頭試問)	備考
前期	法学政治学 (アカデミック)	20名	一般 *1	・外国語(英・独・仏から1科目選択) ・専門科目(*3から専攻予定科目を含む2科目選択) ・口頭試問*4	*1 本学法学部を2017年9月から2021年3月までに卒業または卒業見込みの者、ならびに本学法務研究科を2018年3月から2021年3月までに修了または修了見込みの者には、外国語および専門科目の免除制度がある。ただし、専攻予定科目が国際法・法社会学・英米法・ドイツ法・フランス法の場合は、外国語については免除制度は適用されない。 *2 外国語は課さない。ただし、専攻予定科目が国際法・法社会学・英米法・ドイツ法・フランス法の場合は、外国語(英・独・仏から1科目選択)を課す。 *3 憲法・民法・刑法・商法・行政法・民事訴訟法・刑事訴訟法・倒産法・租税法・経済法・労働法・刑事学・知的財産法・国際法・国際私法・国際経済法・法社会学・英米法・ドイツ法・フランス法・現代政治理論・アメリカ政治論・アジア政治論・日本政治史・日本政治思想史・欧州政治思想史・国際政治・ヨーロッパ政治論・行政学・政治過程論。 *4 対象者を限定する。 *5 事前の書類審査により、対象者を限定する。
			社会人 *2	・専門科目(*3から専攻予定科目を含む2科目選択) ・口頭試問*4	
			外国人 *2	・専門科目(*3から専攻予定科目1科目選択) ・口頭試問*4	
	法学政治学 (プロフェッショナル)		一般	・書類審査 ・口頭試問*5	
			社会人	・書類審査 ・口頭試問*5	
			外国人	・書類審査 ・口頭試問*5	

入試要項・問い合わせ窓口

- ・2021年度入試要項(2020年秋季実施分)は、下記のURLからアクセスできます。
<https://www.rikkyo.ac.jp/invitation/admissions/graduate/daigakuin2021/>
- ・出願資格等については、下記までお問い合わせください。
立教大学 学部事務2課(法学部・法学研究科担当) 電話:03-3985-3365